

スズキ、「GSX-R」シリーズが発売 40 周年



スズキ株式会社の二輪車を代表するスーパースポーツバイク「GSX-R」シリーズが、1985 年の初代「GSX-R750」発売から 2025 年で 40 周年を迎えました。これを記念して、GSX-R シリーズの特設サイトを 7 月 25 日より公開しました。

今後、特設サイトでは、40 年にわたり受け継がれてきた GSX-R シリーズのスピリット、歴代開発者のインタビュー、今後開催されるイベント情報などを掲載し、順次コンテンツを更新していく予定です。

●GSX-R シリーズ 40 周年 特設サイト

<https://www.globalsuzuki.com/motorcycle/smgs/products/gsx-r-40th-anniversary/>

初代 GSX-R750 は、世界耐久選手権などのレースで培った技術をフィードバックしたモデルです。軽量化と高い耐久性の両立を実現したスズキ独自の油冷エンジンを搭載し、最高出力は 77PS を誇りました。車両乾燥重量を 179kg に抑え、高出力かつ軽量で高い耐久性を備えたスーパースポーツバイクとしての地位を確立しました。

1985 年にレースデビューした GSX-R750 は、同年に開催されたル・マン 24 時間耐久レースにおいて優勝しました。その後も、GSX-R シリーズは 40 年にわたり、レースで勝てるポテンシャルを持つスーパースポーツバイクとして支持され、シリーズ累計生産台数は 120 万台以上*に上ります。

2024 年からは GSX-R1000 をベースとした車両で鈴鹿 8 時間耐久ロードレースに「チームスズキ CN チャレンジ」として参戦し、サステナブルアイテムを使用することで、環境性能技術の開発を加速させ、今後の製品への技術フィードバックにつなげていきます。

*GSX-R1100/1000/750/600/150/125 の合計、2025 年 6 月末時点

以上